

「あなたがあなたらしく暮らせる」文京区

かいづあつこレポート 号外
発行 / 誰もが主役になるまちを創る会
発行責任者 / かいづあつこ
2011年3月吉日
〒112-0002 文京区小石川3-30-11 1F
TEL 080-4067-8910

誰もが たった一度の人生
子どもの「今」も 大人の「今」も このとき限り
「あなたらしく暮らせる」には 多様な選択肢が必要
それぞれの こんな思い あんな思い
どれも大切にしたい だから
あなたの「今」に間に合うように
スピードをもった教育改革 福祉改革
災害対策をすすめていきます

それが **かいづあつこ**
の目指すもの



かいづあつこ

▼文京区政を取材して見えた課題

- 災害時の対応が学校によってばらつきがあり安全確保に危惧する点がある
- 大規模災害時の対策を緊急に見直し、早急に具体化する必要
- 安産祈願と同時に「どうか保育園に入れますように」と祈る妊婦たちがいて、墓参りに行くと「老人ホームへ入れますように」と祈る高齢者がいるほどの待機状況
- より質の高い教育を目指す学校があっても、区立小中学校の足並みが乱れることを嫌い、取り組みにブレーキをかけがちな教育委員会
- 子育て支援部、教育委員会は「子育て」という視点で密に連携しているとはいえない現状
- 区役所では「うちの課ではわかりません」と、たらいまわしにされがち
- 対応した職員のスキルや意欲によって提供される情報等が大きく左右される
- 医療的ケアが必要な状況になると、行政サービスからも除外されることが多い
- 高齢者が文京区で生きがいを感じ生活できる選択肢が少ない
- 「できない」ことの原因をあげつらね区民に「あきらめてもらう」傾向
- 大学と結んでいる協定は「絵に描いた餅」で区民に還元されていない
- 地域振興、地域産業の再生が急務
- 区側となれあい体質で旧態依然とした区議会

**徹底した
区民の目線で
具体的な改革が不可欠!**

応援者

西川 太一 郎	高橋 統一 郎	関 賢二	岩下 嘉之
荒川 区長	東京 都身 体障 害者 福祉 法指 定医	東洋 大学 参与 前文 京区 副区 長	弁護 士 元窪 町小 PTA 会長 元茗 台中 PTA 会長



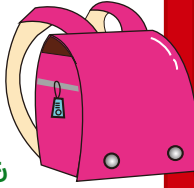
かいづあつこプロフィール

東洋大学社会学部社会福祉学科非常勤講師
聖学院大学人間福祉学部児童学科非常勤講師
認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク電話相談員
NPO法人保育支援センター理事

1961年・東京生まれ 都立杉並高校卒 共立女子大学卒
1983年テレビ朝日入社、社会部・政経部記者を経て92年退職
「子育て支援、学校と保護者との連携、特別支援教育」をテーマに講演、執筆
元柳町小PTA副会長(2004～5年度)、元第三中PTA副会長(2008～9年度)、文京区地域福祉推進協議会委員(2004～5年)、文京区教育改革区民会議委員(2003年～7年)
●家族：夫と3人の娘・三番目の娘に障害がある
●著書「発達に遅れのある子の親になる～生きる力を育むために」「発達に遅れのある子の就学相談～今、親としてできること」(いずれも日本評論社) 他、「実践障害児教育」(学研)連載中

すべての子どもの未来をひらくために

- 「わかった」「もっとやりたい」と子どもから声があがるよう、**子ども一人ひとりの知的好奇心に応える**授業改善、学校改善
- 学校で多様な指導、支援を実践できるよう、**大学・地域の協力を安定して確保**できるシステムの構築
- 障害や病気があっても**誰もが地域の学校で**個々に応じた教育を受けられるような環境整備
- 汚い、くさい、暗い、壊れていると子どもが嫌がる区立中学の老朽化したトイレを**災害時にも役立つ、子どもが安心して使える清潔で明るい快適なトイレ**へ
- 集う場所がなくファミリーレストラン等で勉強もする**中高校生** シビック等に早急に**居場所の確保**を
- 塾へ行かなくとも **子どもが希望する高校への進路実現**も果たせるように勉強を応援するシステム
- 子どもを真ん中にすえて**学校・福祉・医療の連携**
- 前例がない新たな取り組みに消極的な教育委員会から**「子ども第一」**に積極的にチャレンジする体質改善
- いじめなどの問題で**学校や教育委員会の姿勢について申し立て**があったときに調査する第三者評価委員会の設置



親の幸せな背中を、子どもに見せられるように

- 「**子育てか、仕事か**」の究極の選択をしないですむよう、妊娠時に希望を聞きとり、よりの確かな入園希望者予測を立てるなど、保育園・育成室の待機児童の解消に努める
- 「**すべて**」の家庭を**子育て支援**から取りこぼれないよう計画段階からチェック
- 子育てと親の介護が重なっても自分の人生をあきらめずにすむ**よう、行政は「子育て」「高齢者福祉」と縦割りで対応せずに、ワンストップで効率よく行政サービスを提供するシステムをつくる



様々な人が交じり合い、コミュニケーションが深まるまちづくり

- なじみが薄いことが偏見や差別を生み出す **認知症がある人などにも「慣れた」人づくり、災害時にもつながりあえる人づくり**を教育から仕かける
- 障害の有無、年齢、国籍**といった垣根を作らずに、**交じり合い育ちあい**、お互いに「慣れる」ように、施設づくりや、再開発でも仕組みを作る
- 行政が商店等と大学の連携をコーディネートし、**産学連携で知恵を出し合い、まちを活性化**

かいづあつこ

あなたの「今」に間に合うように

あなたの「願い」を、
文京区の「未来」につなげます



- 大学・病院等と連携し、**高齢者・障害者・子ども、その家族、帰宅困難者の災害時対策**の見直しを緊急に行う
- 「親のお財布に小銭が増えてきた」「怒りっぽくなってきた」等々・・・**認知症を疑う症状**を広く周知し初期段階で治療につなげ、**自分が願う元気な生活**をより長く

- 介護する家族が疲労し孤立しないよう、**安心して「ゆだねる」先**が必要 事業所任せにせず介護職の研修などを区が責任を持って行うと共に**特別養護老人ホームの増設**
- 寄せられた声に対して、区がどのように対応したかHP等で公開し**住民が評価できるシステム**を作る



かいづあつこレポート 号外
発行 / 誰もが主役になるまちを創る会
発行責任者 / かいづあつこ (海津 敦子)
発行日 / 2011年3月
連絡先 / 〒112-0002
文京区小石川3-30-11 1F
TEL 080-4067-8910